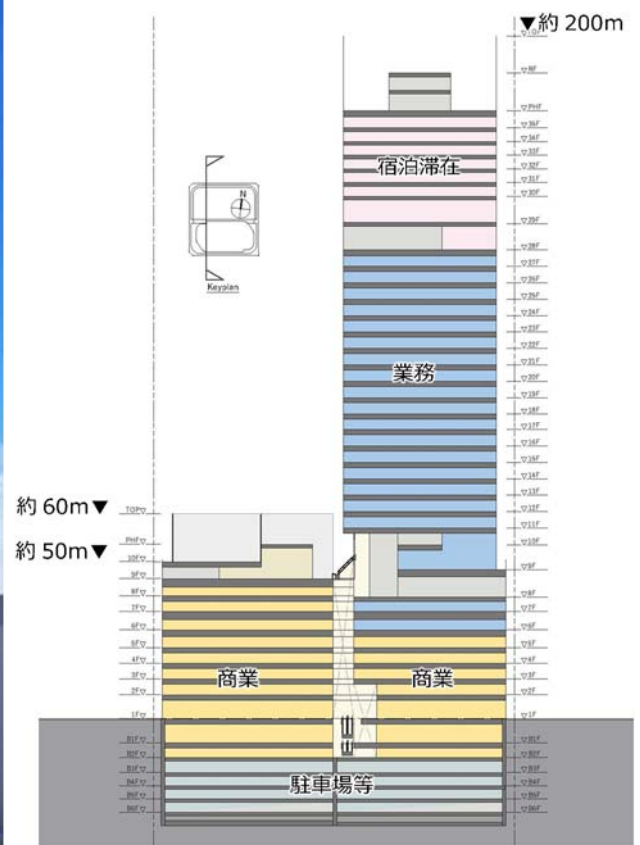


令和4年（2022年）4月6日
札幌駅南口北4西3地区
市街地再開発準備組合

「北4西3地区第一種市街地再開発事業」都市計画決定のお知らせ

札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合（理事長：株式会社ヨドバシホールディングス以下、本準備組合）が進めております「札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業」（以下「本事業」）について、2022年3月、札幌市より都市計画決定の告示がなされました。これにより、本準備組合では、次の段階である市街地再開発組合設立へ向けた検討に着手いたしました。

引き続き、権利者一丸となって事業を推進してまいりますので、関係者の皆様、地域の皆様、札幌市民の皆様の厚いご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



完成予想パース・断面イメージ（現在計画中であり、今後変更となる可能性があります。）

■本事業による都市再生への貢献

今般の市街地再開発事業により、道都札幌の玄関口のシンボルとして、商業・業務・宿泊滞在機能を一体で整備し、新たな賑わいと魅力を創出します。

① 地下鉄さっぽろ駅の機能拡張と地下ネットワークの整備による札幌駅周辺の都市基盤強化

地下鉄南北線さっぽろ駅改修工事と本事業を一体的に進めることにより南北線さっぽろ駅機能の拡張を図るとともに街区内外をつなぐ地下歩行者ネットワークの整備により札幌駅周辺の交通利便性と回遊性の向上を図ります。

②札幌都心のビジネス交流機能強化と賑わいを高める空間形成

札幌駅周辺の賑わい形成に寄与する商業施設とともに札幌のビジネス機能を先導する事業継続性の高い高機能オフィスと多様な働き方やビジネス交流を支えるオフィスサポート機能の整備を図ります。また、札幌駅前通・地下鉄コンコースについて、札幌駅と都心の賑わいの連続化を図ります。

③札幌駅交流拠点の強靱化を先導するBCDの形成

札幌都心のCO₂削減に貢献する環境負荷低減の取り組みを行うとともに、札幌駅交流拠点の強靱化を先導する業務継続地区（BCD：Business Continuity District）の形成を図ります。

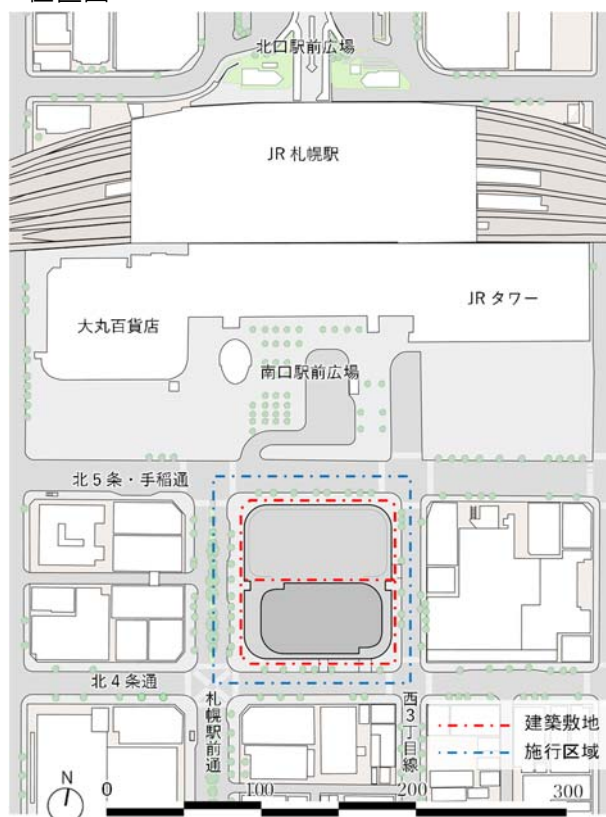
■計画諸元

区域面積	約 1.7ha
敷地面積	約 1.1ha
延床面積	約 210,200 m ²
高さ・階数	約 200m・地上 35 階地下 6 階

■スケジュール

2019 年度	準備組合設立
2021 年度	都市計画決定
2022 年度	再開発組合設立認可（予定）
2023 年度	権利変換計画認可（予定）
2023 年度	工事着手（予定）
2028 年度	竣工（予定）

■位置図



連絡先：札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合
(株)ヨドバシホールディングス 営業部
安藤 TEL：03-6380-1542